

川崎重工業株式会社

2026 年 9 月 7 日

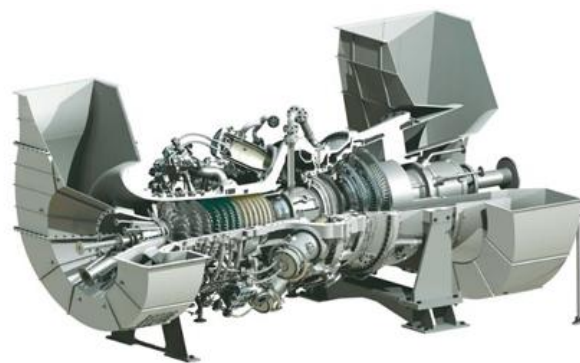
**30MW 級水素専焼ガスタービンの設置工事が完了
～欧州初となる発電実証プロジェクトの実施に向けて～**

川崎重工は、ドイツの大手電力会社RWE Generation SE（以下、RWE社）とともに、同社が運営するエムスラント発電所内（ドイツ・ニーダーザクセン州リンゲン）の水素パークにおいて進めていた、当社の30MW級水素専焼ガスタービン「L30A」を用いた発電設備の設置工事を完了しました。なお、本設備は、当社明石工場で製造したガスタービンを、グループ会社であるKawasaki Gas Turbine Europe GmbH（KGE）が発電装置に組み込み、設置したものです。

今後、ガスタービンおよび発電装置の試運転を経て水素専焼（水素燃料100%）による発電実証プロジェクト（以下、本プロジェクト）を開始する予定です。30MW級ガスタービンを用いた水素専焼発電実証としては、欧州で初めての取り組みです。



設置工事が完了した発電設備



30MW級ガスタービン「L30A」

本プロジェクトでは、RWE社が保有する風力発電施設から供給されるグリーン電力を用いた水の電気分解によるCO₂フリー水素を用いて水素専焼運転を行うのに加え、水素供給量や市場ニーズに適合させるために天然ガスを副燃料として混合し、水素混焼率（0%～100%）を任意に変えながらのフレキシブルな発電も実施します。

本プロジェクトは、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が進めている「脱炭素化・エネルギー転換に資する我が国技術の国際実証事業」に採択されています。当社は、本プロジェクトを通じて、水素エネルギーの大規模利用の実現、欧州をはじめとする世界の脱炭素実現・エネルギーの安定供給への貢献を目指していきます。

<参考プレスリリース>

- ・ 30MW 級ガスタービンでは世界初となる、水素燃料 100%の発電実証の実現に向けた協議を開始（2021 年 12 月 9 日プレスリリース）

https://www.khi.co.jp/pressrelease/news_211209-2j.pdf

<関連リンク>

・川崎重工「Kawasaki の水素技術」

<https://www.khi.co.jp/hydrogen/technologies/#utilization-tec>

以 上